

■「Beyond EXPO 2025（案）」に対する意見回答

【募集期間】 令和8年2月16日（月曜日）から令和8年3月17日（火曜日）まで

【募集方法】 電子申請・郵送・ファクシミリ

【募集結果】 13名（うち団体・グループ数1）の方から、延べ58件のご意見・ご提言をいただきました。
いただいたご意見・ご提言についての府市の考え方は次のとおりです。

カテゴリ	意見概要	府市の考え方
戦略全体の考え方	<p>本文では夢洲、IR、MICE、閑空容量拡張、データセンター、道路・鉄道整備などが成長の柱として並びます。しかし、それらは住民生活に直結するとは限らず、地価や家賃の上昇、混雑、観光公害、公共投資の偏りを招くおそれがあります。まず優先すべきは、老朽インフラ更新、防災、上下水道、地域交通、医療・福祉など暮らしの基盤です。</p>	<p>Beyond EXPO 2025は、万博後の持続的な成長・発展と府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき指針（成長戦略）として策定するものであり、大阪の持続的な成長と府民のWell-Beingの向上を一体的にめざしています。</p>
戦略全体の考え方	<p>全体的に 成長や都市開発に重点が置かれていて、気候変動、災害リスク、格差、高齢化などの課題への対応が十分に示されていません。また、万博の効果のみを強調していて、費用負担やリスクについての検証がなされていません。行政の役割が投資誘致や開発促進に偏っており、公共サービスや生活の安定を重視する視点がないです。大阪府はここまで落ちたのかと思うと、恥ずかしいです。大阪府って維新の会かなんかの組織体なんですか。そもそも、こんな見づらい、読みづらい、理解しにくいものを90ページ分も、府民が読んでくれると思っているところがおかしいです。もっと簡潔にわかりやすくすべき。</p>	<p>Beyond EXPO 2025は、万博後の持続的な成長・発展と、府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき道を示す指針（成長戦略）として策定するものです。</p> <p>いただいた内容については、ご意見として承ります。</p>
戦略全体の考え方	<p>転入超過、インバウンド増、マンション・ホテル増加、地価上昇などが「正の循環」として描かれていますが、それは住民にとって生活コスト増や地域環境悪化として現れる面もあります。本案は成長の副作用への記述が弱く、生活者目線でのバランスを欠いています。</p>	
戦略全体の考え方	<p>Beyond EXPO 2025の施策の方向性について、特定地域だけに着目しているが、現実の大阪はインフラの老朽化で大変なコストが待ち受けている。そこを無視した施策などあり得ない。</p>	
戦略全体の考え方	<p>観光・インバウンドへの効果を、今後も同様の期待値で計画しているが、ここ数年のインバウンド需要は、激しい円安によるところが多い。円安や中国の気分次第で乱高下するインバウンド需要を、試算の根拠にするにはあまりにリスクだ。しかも、現在、中東情勢も不安定で、世界情勢の行方の見えな。その中にあるのは、市民生活の安全・安定を第1に考え、大きな組織的改造を伴う大型事業、投機的計画は控えるべきである。</p>	<p>観光分野においては、インバウンドの増加のほか、国内旅行者の増加や消費単価の向上の取組み、また成長産業分野においては、ライフサイエンス、カーボンニュートラル等の成長産業の集積など、多面的な取組により経済成長をめざすこととしています。</p> <p>また、本戦略の施策の方向性については、取組の成果や環境変化などを踏まえ、毎年度バージョンアップすることとしております。</p>
戦略全体の考え方	<p>万博を起点にした成長を前提にしており、前提自体の妥当性が検証されていない。万博は運営費のみ黒字で、総工事費を見れば大赤字なのに、なぜ万博を契機にする必要があるのか。論拠はなんなのか。策定趣旨として5つの文章が書かれているが、文末表現含め、ものすごく文章がわかりづらい。</p>	<p>Beyond EXPO 2025では、万博を契機に高まった、大阪の「チャレンジ力」「求心力」「プレゼンス」「グローバル力」をレガシーとして継承し、民の力を最大限活用して「中枢性・拠点性」「東京とは異なる個性・価値観」を向上させることとしております。</p>

<p>戦略全体の考え方</p>	<p>本案では「府市一体」が繰り返し強調され、あたかもそれ自体が成長の決定要因であったかのように描かれています。しかし、経済回復や観光需要、民間投資には複数の要因があり、成果をすべて「府市一体」に帰するのは無理があります。しかも、この背景には都構想を推進してきた政治的発想が色濃くにじんでいます。大阪における特別区設置の是非は住民投票で二度否決された経緯があり、府市一体化を無条件に礼賛する記述は住民意思への敬意を欠きます。大阪市の財政も、直近の市公表資料で実質収支が黒字とされ、健全化判断比率も基準内です。したがって、「府市一体化しなければ何も進まなかった」と受け取れる書きぶりは避けるべきです。</p> <p>本案は「副首都化」「万博レガシー」「府市一体化」を自己目的化せず、府民・市民の生活実感を起点に抜本的に見直すべきです。</p>	<p>府市一体の成長戦略やまちづくり・インフラ整備を進めてきた結果、直近の名目GDPやインバウンドが過去最高を記録するなど「副首都・大阪」に向けたポテンシャルが大きく向上してきていると考えています。</p> <p>Beyond EXPO 2025は、万博後の持続的な成長・発展と府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき指針（成長戦略）として策定するものです。</p>
<p>戦略全体の考え方</p>	<p>「成長に向けたエコシステム」の最初に府市一体の取組をあげている。府市一体の取組はいわゆる二重行政の解消を意味しているのか。この間の取組、エコシステムにより、二重行政は解消されたのか。</p>	<p>戦略の一元化、内部組織の共同設置、府市機関の統合・民営化、地独化などを通じて、府市一体で大阪の成長・発展を実現する仕組みづくりを推進しております。</p>
<p>戦略全体の考え方</p>	<p>1人あたり雇用者報酬は、東京都がかなり伸びているが、大阪府は停滞気味ではないか。確か愛知県と比べても下回っている。大阪の成長戦略が15年ほど続けられてきたが、大阪経済は総じて低迷しており、もっとシビアに政策を評価する必要があるのではないか。</p>	<p>府市一体の成長戦略やまちづくり・インフラ整備を進めてきた結果、直近の名目GDPやインバウンドが過去最高を記録するなど「副首都・大阪」に向けたポテンシャルが向上してきていると考えています。こうした取組を継続させ、大阪の持続的な成長・発展と府民のWell-Beingの向上を一体的にめざすものです。</p>
<p>戦略全体の考え方</p>	<p>府知事はこれまでさんざん「成長」を連呼してきましたが、「成長に向けた土台づくり」って何ですか。これまで一体何をやってきたのでしょうか。</p>	<p>過去の大阪は、財政危機や二重行政による非効率が発生し、負の循環に陥っていましたが、徹底した行財政改革、交通インフラの整備、府市一体の成長戦略の実行、現役世代への重点投資、さらには万博開催に向けた準備など官民を挙げた取組を行い、大阪のポテンシャルは回復・向上してきていると考えています。</p>
<p>戦略全体の考え方</p>	<p>万博とは「国際博覧会」のことであり、「副首都」化するものではない。「万博のレガシーを継承する」とのことだが、今回の案のどこにレガシーの部分があるか。万博のレガシーの定義について、日本語できちんと示してください。</p>	<p>大阪・関西万博では、新たなアイデアや新技術が創出される（「チャレンジ力」）とともに、世界の叡智や情報が大阪に集結（求心力）しました。また日本・関西・大阪の文化芸術が発信（プレゼンス）され、世界との交流が活性化（グローバル力）しました。Beyond EXPO 2025では、万博で高まったこうした点を、レガシーとして継承し、大阪の「中枢性・拠点性」「東京とは異なる個性・価値観」を向上させることで、日本の成長をけん引し、世界に伍する「副首都・大阪」の実現をめざすことをお示ししています。</p>
<p>戦略全体の考え方</p>	<p>万博のその先を考える前に、まずは、同じように理想を描き突き進んだ万博の実態の検証をお願いしたい。例えば、空飛ぶ車、自動運転EVバス、海からのアクセスなど、それらの計画の試算と結果は。</p>	<p>Beyond EXPO 2025は、万博後の持続的な成長・発展と、府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき道を示す指針（成長戦略）として策定を検討しているものです。</p> <p>万博の成果検証については、国において検証委員会が実施しているところです。また、大阪府における万博に向けた取組の振り返りについては、万博アクションプランの振り返りとして別途取りまとめているところです。</p>
<p>戦略全体の考え方</p>	<p>万博で出された「いのち輝く」を描く未来は、どうあるべきか、という哲学が不在である。国際社会は、「無駄な開発から、生物多様性を重視する社会に戻すためのネイチャーポジティブ」、2050年までに人間が壊した環境の30パーセントを陸域と海域で取り戻す30by30」という考え方で、計画を立てるようにしている。その視点が全く欠落している。</p>	<p>Beyond EXPO 2025は、万博後の持続的な成長・発展と府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき指針（成長戦略）として策定するものであり、大阪の持続的な成長と府民のWell-Beingの向上を一体的にめざしています。このような考えのもと、具体的な取組の方向性として、居心地の良いみどりのまちづくりを掲げています。</p>

戦略全体の考え方	万博には建設・運営・関連事業をめぐってなお検証すべき論点が多く、成功を前提に次の大型戦略へ接続するのは拙速です。少なくとも、万博の費用対効果や負の側面も検証対象に含めるべきです。	Beyond EXPO 2025では、万博を契機に高まった、大阪の「チャレンジ力」「求心力」「プレゼンス」「グローバル力」をレガシーとして継承し、民の力を最大限活用して「中枢性・拠点性」「東京とは異なる個性・価値観」を向上させることとしております。
戦略全体の考え方	「万博をインパクトに大阪の中枢性・拠点性が高まり「副首都・大阪」に向けたポテンシャルが大きく向上」と書かれているが、何を根拠にしているのか。そもそも万博は大阪の「成長戦略」として招致、実施されたのか。	府市一体の成長戦略やまちづくり・インフラ整備を進めてきた結果、直近の名目GDPやインバウンドが過去最高を記録するなど「副首都・大阪」に向けたポテンシャルが向上してきていると考えています。こうした取組を継続させ、大阪の持続的な成長・発展と府民のWell-Beingの向上を一体的にめざすものです。
戦略全体の考え方	「大阪のGDPシミュレーション」において、2030年以降の大阪府の実質GDP成長率を「2.0%」に設定した根拠について教えてください。（どのような資料を基に、どのような計算を行って算出したか。いわゆるEBPMの根拠）	
戦略全体の考え方	大阪府財政課「財政状況に関する中長期試算」では、将来の府の歳入歳出について、内閣府「中長期の経済財政に関する試算」の「過去投影ケース」が採用されてるが、Beyond EXPO 2025（案）では、内閣府の試算における「成長移行ケース」が採用されています。その理由を教えてください。 大阪府財政課は、将来の歳入・歳出を推定するにあたり、府民や府内企業等の経済動向をリサーチしたうえで「過去投影ケース」を採用していると考えますが、政策企画部がそれとは異なる「成長移行ケース」を採用した理論や背景は何ですか。	Beyond EXPO 2025では、今後、大阪の強みを活かせる分野の市場拡大が見込まれる産業に対して官民挙げた投資を進め、大阪の獲得市場を引き上げ、副首都ビジョンが目標とする経済成長の加速化を図ることとしております。
戦略全体の考え方	「大阪のGDPシミュレーション」において、全国のGDP成長率に内閣府の試算における「過去投影ケース」を採用した場合の大阪のGDPシミュレーション（粗い試算）も示してください。今後Beyond EXPO 2025（案）に基づく「副首都」を目指すメリットデメリットや、2040年代に名目GDP80兆円を実現できるかどうかを判断するために必須と考える。	経済目標達成に向けては、国が進める「成長型経済の取組」＜成長移行ケース（名目成長率：3.0%前後、実質成長率：1.5%前後）＞をオール大阪で着実に実行していくことに加え、「大阪の独自の取組」を組み合わせることで、国の実質成長率1.5%をさらに0.5%以上押し上げ、経済目標（実質経済成長率年平均2%）の達成をめざしています。
戦略全体の考え方	2030年～2050年の20年にわたり大阪府においてGDP成長率一律2.0%を達成することは極めて困難。今後、GDP成長率の予測が外れる状況が頻繁に発生すると感じるが、その場合、今回の資料の作成者・会議体はどのような対策を取るのか。そのような「想定外の状況における対策」についても記載してください。	なお、本戦略の「基本的な考え方（基本方針、めざす都市像、目標等）」については策定後5年ごとに検証を行い、「施策の方向性（具体的な取組）」については毎年度バージョンアップをはかって行く予定です。
戦略全体の考え方	2040年代にGDP80兆円という目標は楽観的すぎます。GDP試算は実質成長率を固定しているなど、現実的な人口動態や経済状況を踏まえた検証がなされていないと思います。	
戦略全体の考え方	実質成長率年平均2%、名目GDP80兆円という目標は、本文で示されている過去実績との乖離が大きいです。実際、コロナ前の大阪の実質成長率は2012～2018年平均で0.7%とされており、目標達成の前提はかなり楽観的です。希望的な数値目標ではなく、慎重で現実的な見通しに立つべきです。	
戦略全体の考え方	今後の進め方については、ざっくりとしか書かれていない。案を考えるのであれば、もっと具体的にスケジュール化したものを示すべき。	5「今後の進め方」については、令和7年度内のBeyond EXPO 2025の策定と令和8年度以降の基本的な進め方についてお示ししたものです。

副首都構想	<p>「Beyond EXPO 2025」に関連して進められている副首都化構想について、慎重に検討すべき。</p> <p>「副首都」という概念そのものが法的にも制度的にも明確ではなく、具体的にどのような権限や機能を持つのが分かりづらい。明確な定義や制度設計が十分に示されていない段階で、大きな方向性を打ち出すことには不安がある。</p> <p>副首都化に向けた追加的な財政負担が将来世代へ影響を与える可能性についても慎重に考えるべき。限られた財源の中で、成長戦略や都市間競争の強化を優先するのか、生活に直結する施策（福祉、子育て支援、教育、防災など）を優先するのかという議論が十分に尽くされているとは言えない。また、副首都化が一部の中心地域や大企業に恩恵をもたらす一方で、府域全体にその効果が広く行き渡るのかについても疑問。成長戦略が住民生活の安定と両立するのか、具体的な検証が必要。</p> <p>政策の進め方について、十分な情報公開と丁寧な説明が求められる。数値目標や成果指標、リスク分析などが分かりやすく示されているとは言い難い。パブリックコメントの実施だけでなく、反対意見を含めた多様な声がどのように政策に反映されるのか、透明性の確保が重要。</p> <p>副首都化という大きな構想を進めるのであれば、その必要性、費用対効果、住民生活への影響について、より慎重で開かれた議論を重ねるべき。</p>	
副首都構想	<p>副首都構想は法制度上確立しておらず、本戦略の前提とすることの妥当性について説明が不足しています。維新の政治構想が計画の前提になっているのはおかしいです。また、東京都のバックアップということは、維新政治が嫌ってきた「二重行政」にはなりません。GDPが名古屋に抜かれていますので、そんな副首都機能を備えている場合ではないです。まずは府民・市民の生活を安定させてください。</p>	<p>大阪府市では、日本における多極の一極として、平時の日本の成長、非常時の首都機能のバックアップを担う「副首都・大阪」の実現をめざしています。</p>
副首都構想	<p>大阪を副首都にするというのは荒唐無稽と考える。大阪府市広域行政一元化条例により、大阪市の財源が大阪府に良いように食い尽くされているとしか思えない。二度目の住民投票で吉村氏や松井氏の夢は絶たれたように思われましたが、翌年の市会と府議会において一元化条例を十分な議論や、中身を市民・府民に知らしめ広範な議論が成されたとは決して思えません。ここに、「副首都構想」という耳障りのよい言葉で、所謂「都構想」住民投票に水路と活路を見出そうとする吉村・横山両首長の醜い魂胆が明確に見えます。そんな、汚い「副首都構想」は不要です。</p> <p>さらに、大阪はこの30年中に必ず南海トラフ地震一津波に襲われる危険性が指摘をされています。気象変動で、台風などの風水害の大型化も懸念されており、我が街大阪が「副首都」の機能を果たせるとは思えません。脆弱な都市基盤の大阪、防災や減災が進んでいるとは到底思えません。都市インフラの老朽化が叫ばれて久しい大阪。にもかかわらず、その対策は放置したまま。万博などのイベントに市民府民を誘導して見せかけだけは一人前の大阪。カジノという賭博には前向きで、ギャンブル委依存症対策は何一つ具体性も示せない大阪。そんな大阪は「副首都」とはおこがましい。今日的な課題を見つめれば見つめる程、大阪ではなく、もっともっと、副首都に相応しい都市にその位置を譲る方が国民のためになります。大阪は副首都に似付かわしくありません。心から反対です。</p>	<p>Beyond EXPO 2025は、副首都・大阪の実現や日本の成長エンジンとしての役割を果たすことをめざし、万博後の持続的な成長と府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき指針（成長戦略）として策定するものです。</p> <p>なお、副首都構想に関するご意見は、担当部局に伝達するとともに、政策の進め方に関するご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
副首都構想	<p>いきなり「副首都」を語られても、全国的に見ても軟弱地盤の占める割合が多い大阪なのに、なぜ大阪が？と思うばかりだ。万博で浮かれて津波対策の手を抜いていたこの大阪が南海東南海で津波が襲って交通通信がずたずたになった場合には、副首都どころか、大阪に救援に来てもらわなくてはならない。</p>	

副首都構想	<p>万博レガシーの継承、副首都・大阪の実現がキーワードになっているが、とりわけ「副首都構想」と成長戦略の関係が理解できない。非常時の首都機能を複数の都市が連携して担うことは一定意味があると思うが、副首都構想が成長戦略にどう結びつくのか明確な説明を求める。</p>	
副首都構想	<p>「万博」は「副首都」化するために開催したのか。「万博後＝副首都」の今回の案は、白紙撤回すべき。万博を利用して、物事を強引に進めることは府民の声を無視していると思えない。ミヤクミヤクが政治利用されて可哀そう。</p>	<p>Beyond EXPO 2025は、万博後の大阪の持続的な成長・発展と、府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき道を示す指針（成長戦略）として策定にするものです。本戦略では、万博のレガシーを継承し「中枢性・拠点性」や「東京とは異なる個性・新たな価値観」を向上させ、「副首都・大阪」の早期実現と日本経済をけん引する成長エンジンとしての役割を果たしていくことをめざしています。</p>
副首都構想	<p>「副首都」とありますが、世界中のどの国のどの都市に副首都があり、どの国のどこをモデルにしているのか教えてほしい。</p>	<p>大阪がめざす副首都は、日本における多極の一極として、平時の日本の成長、非常時の首都機能のバックアップを担う都市と考えています。なお海外の成長都市に関しては、「副首都ビジョン【改訂版】2023年3月」を参照ください。</p>
副首都構想	<p>副首都に関して「住民投票」をするのか、しないのか、明記してほしい。</p>	<p>Beyond EXPO 2025では、万博のレガシーを継承し「中枢性・拠点性」や「東京とは異なる個性・新たな価値観」を向上させ、「副首都・大阪」の早期実現と日本経済をけん引する成長エンジンとしての役割を果たしていくことをめざしています。</p>
副首都構想	<p>副首都化が大阪府民・市民の生活にどのような具体的利益をもたらすのかが不明確です。国全体の成長やバックアップ機能の強化は抽象的で、住民にとって切実な賃金、医療、介護、教育、住宅、地域交通の安定につながる説明が乏しいです。国家的役割を強めることと、生活の安心が両立するとは限りません。</p>	<p>Beyond EXPO 2025は、大阪の持続的な成長・発展と府民のWell-Beingの向上を一体的にめざすものです。その実現に向けて、「経済の成長」「都市力の向上」「人の集積」の3つが互いに高め合う好循環サイクルを定着・加速させ、それにより、府民所得の向上や雇用の創出といった経済的豊かさを強固なものとし、その基盤のもとに、府民一人ひとりの暮らしの豊かさの向上につなげ、府民一人ひとりのWell-Beingの向上をめざしてまいります。</p>

イノベー ション	<p>今回の「Beyond EXPO 2025（案）」の最終章に掲げられている「成長を通じた豊かな大阪の実現」という考え方には強く共感しており、今度は副首都の観点から「豊かな大阪」の実現を応援したいという想いがあります。そこで、「豊かな大阪」の実現に向けて「大阪独自の強みを活かした次世代産業がある都市にチャレンジするイノベーション先進都市」への転換のために活用すべきリソースについて、以下のように考えました。</p> <p>活用すべきリソースは、マーケットに強い総合金融機関・投資銀行です。私は「Beyond EXPO 2025（案）」の「取り組みの三本柱」は、副首都としての都市機能を考えるうえで重要な要素に対応していると考えました。</p> <ul style="list-style-type: none">・【1】チャレンジを後押しする支援の充実→資金循環機能（金融）・【2】イノベーションを創出するための拠点の形成→企業成長支援（IPO・M&A）・【3】国内外からの投資を呼び込み→国際投資マネーの呼び込み <p>これらを実現するためには、都市と資本市場を結び付ける役割を担う、マーケットに強い総合金融機関・投資銀行の存在が極めて重要になります。例えば、こうしたリソースのとの「国際金融・成長戦略に関する連携協定」のような枠組みを設け、その機能を十分に活用し、都市の成長戦略と金融機能を戦略的に接続していくことが、世界に伍する経済力を有する副首都の構築に有効であると考えました。今後の施策検討の参考としていただければ幸いです。</p>	<p>Beyond EXPO 2025は、万博後の持続的な成長・発展と府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき指針（成長戦略）として策定するものであり、大阪の持続的な成長と府民のWell-Beingの向上を一体的にめざしています。このような考えのもと、チャレンジする企業等への支援の強化、「国際金融都市OSAKA戦略」の取組による投資の促進などを通して、大阪独自の強みを活かした次世代産業にチャレンジするイノベーション先進都市を推進することをお示ししております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の取組みを進めていくうえで、参考とさせていただきます。</p>
-------------	---	--

イノベーション	<p>成長産業分野として、ライフサイエンス拠点の形成をあげている。拠点とされる健都・彩都などで、民間企業の誘致は進んでいるのか。また、空飛ぶクルマの事業環境整備などを掲げているが、万博でも問題となったように、これが大阪の成長につながるのか、甚だ疑問である。</p>	<p>ライフサイエンスについては、中之島クロス、健都、彩都の強みや拠点性を活かした民間企業等の集積が進んでおり、各拠点においてイノベーション創出を推進しています。</p> <p>空飛ぶクルマについては、全国に先駆けた商用運航開始と大阪を中心とした関西各地の観光地等を結ぶ運航ネットワークの早期確立をめざすとともに、需要の創出・拡大に向けた取組を進め、空飛ぶクルマのビジネス化を推進します。</p>
イノベーション、人材、まちづくり	<p>Beyond EXPO 2025の基本的な考え方について、大阪の力は従来中小企業にあり、その点はスタートアップでも同様と思われる。特に情報産業は国際交流が重要で外国人が自由に行動できる素地が要るが、そのような基礎的な部分に目を向けた様子はない。万博のレガシーを言うが、夢洲の跡地利用もゆるゆるの地盤で、まともな利用は困難と思われる。</p>	<p>中小企業・スタートアップの支援については、本戦略において、中小企業の生産性向上・経営基盤強化・技術の高度化支援や、スタートアップ・エコシステム拠点の形成、外国人が活動しやすい環境整備については、グローバル人材や海外企業の進出を促す環境整備、夢洲については、万博の理念を継承した国際観光拠点形成等を推進します。</p>
エンタメ	<p>大阪が強みを発揮できる分野として、成長産業と観光をあげている。エンタメ都市とも関連して、観光分野から見ていくと、確かにインバウンドは増えたが、その弊害にもっと目を向けるべきではないか。大阪市は特区民泊が全国の大半を占めている。生活環境に深刻な影響を与えており、住民の苦情は高まるばかりだ。こうした大阪の「成長戦略」の影にも注目して、行財政運営に心がけるべきでないか。</p>	<p>Beyond EXPO 2025では、観光事業者や観光客による環境配慮行動の促進など、持続可能な観光都市を推進することを掲げています。</p>
エンタメ	<p>基本方針の重点分野として、経済力と都市力をあげている。都市力で「エンタメ都市」を標榜しているが、これは夢洲のIRカジノなどを意味しているのか。</p> <p>夢洲では大阪市の公金を投入して、日本初のIRという名のカジノが建設されつつある。IR収益の8割をカジノが占め、まさにエンタメ都市は「ギャンブル都市」でもある。大阪は歴史的に「都市格」のある都市を目指してきた。ギャンブル都市は、SDGsやWell-Beingに逆行し、大阪の都市格を押し下げないのでないか。</p>	<p>Beyond EXPO 2025では、「大阪独自の魅力を発揮したワクワク・オモロいを掻き立てるエンタメ都市」実現に向けて、夢洲でのIRを核とした国際観光拠点の形成のほか、世界水準のMICE都市の実現、大阪の食や文化など独自の魅力を活かしたキラークンテンツの創出・発信など、大阪ならではの魅力を高める取組を推進してまいります。</p>

フレンドリー	大阪府の健康課題は、「第4次大阪府健康増進計画」に基づいて進められているが、同計画では、健康づくりの具体的な方策が十分に示されていない。そのため、「健康」増進が抽象的なイメージにとどまり、Beyond EXPO 2025（案）そのものが単なる作文なのではないかと懸念される。	Beyond EXPO 2025は、万博後の持続的な成長・発展と府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき指針（成長戦略）として策定するものであり、大阪の持続的な成長と府民のWell-Beingの向上を一体的にめざしています。このような考えのもと、具体的な取組の方向性として、健康・福祉課題の解決をめざした研究開発の推進や先端技術を活用した健康医療サービスの展開などの取組を掲げています。 いただいたご意見については、今後の取組みを進めていく上で、参考とさせていただきます。
フレンドリー	大阪府のタバコ対策において、禁煙支援施策が余りに不十分。禁煙外来の支援補助を全市町村に助成するなど、制度化をはかるべき。また禁煙支援アプリの普及と無料サポート（妊婦禁煙を含む）や禁煙支援薬局との連携も望まれる。	
フレンドリー	健康日本21（第三次）計画では、2032～35年度には「望まない受動喫煙のない社会の実現」が掲げられている。受動喫煙の害を受けている人の割合は、家庭内、行政・医療機関、職場、飲食店等を含め、2032～35年度までには、目標ゼロ%の明記とともに、その施策を強く進めるべき。「第4次大阪府健康増進計画」には、その徹底や施策があるようには見えない。	
フレンドリー	子どもや妊産婦を受動喫煙の危害から抜本的に守る施策を重点的に進めるべき。兵庫県条例のような「20歳未満の者・妊婦と同室する住宅の居室内、同乗する自動車内などの「禁煙」遵守」を大阪府でも策定し、次世代の子どもたちを受動喫煙の危害から守るようお願いしたい。	
フレンドリー	認知症には喫煙の影響もかなりあると指摘されているところで、若年からの生活習慣の改善により、認知症の発症予防・重症化予防は可能なので「大阪府健康増進計画」に盛り込むべきと思うし、これらの健康づくりの諸課題を踏まえた上でのBeyond EXPO 2025の策定をお願いしたい。	
まちづくり	<p>万博の会場となり、この計画書にもあるIRが建設される夢洲は、もともと廃棄物を投入していた埋め立て地で、高層ビルを立てるような地盤に計画されている土地でない。そもそも軟弱地盤の場所に建物を立てるのは、通常でもリスクであり、今後ながい将来にわたり補償が市民の負担となってくるので、やめてほしい。</p> <p>万博跡地およびIR計画地の夢洲についての、具体的な防災計画が見当たらない。東南海地震がひとたび起これば、津波のリスク、液状化は確実に起こり、アクセス経路が限られているので、陸の孤島となる。施設を創る際には、必ず減災プランとセットでなければ認めれない。</p>	Beyond EXPO 2025は、万博後の持続的な成長・発展と府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき指針（成長戦略）として策定するものであり、大阪の持続的な成長と府民のWell-Beingの向上を一体的にめざしています。このような考えのもと、具体的な取組の方向性として、IRを核とした新たな国際観光拠点の形成、夢洲まちづくりなどの取組みを掲げています。 いただいたご意見については、今後の取組みを進めていく上で、参考とさせていただきます。
まちづくり	全体として絵花的であり、さまざまな施策を取り混ぜたものとなっている。人口減少時代・災害多発時代を迎え、楽観的な未来図ではなく、リスク管理を明確にした持続可能な行財政運営、施策が求められる。ここ10数年にわたり、夢洲での万博やIRカジノに象徴されるように、大阪臨海部や都心を中心とした拠点開発が進められてきた。大阪東部や南部などとの地域間格差が広がっている。大阪全体に目配りした、地域間格差を是正する、府民生活優先のきめ細かな政策を願ってやまない。	Beyond EXPO 2025は、万博後の持続的な成長・発展と府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき指針（成長戦略）として策定するものであり、大阪の持続的な成長と府民のWell-Beingの向上を一体的にめざしています。このような考えのもと、具体的な取組の方向性として、地域の活性化と基礎自治機能の充実・強化、地域のまちづくりを推進することを掲げています。

<p>成長を通じた豊かな大阪の実現</p>	<p>「府民の暮らしの向上」が非常に抽象的で呆れます。府民の生活水準向上に直結する施策（賃金、住宅、福祉等）が十分に示されていません。豊かな暮らしとは、道路の白線が綺麗に引かれ、元気な街路樹が切られず、公立学校や病院、性暴力支援センターや図書館が潰されず、福祉や教育現場に潤沢な予算がおりるような生活のことを言います。「身を切る改革」で切ってきた、あらゆる生活・文化インフラを整えることから始めてほしいです。</p>	
<p>成長を通じた豊かな大阪の実現</p>	<p>本来の投資は、機械やAIではできない人的資源、そして、将来の文化や産業を担う人材を育てるところに投資すべき。しかし現実には、選挙や組織改正など無駄なことばかり税金を投入して、本来行政が公共の仕事としてすべきことをしていない。</p> <p>この案に書かれていることは、ここに住む人間を置き去りにした絵空事にしか見えない。大変悲しい。いま大阪府市がやろうとしていることは、民間でも儲かるならば十分できることであり、儲からないけれどやりたいって事ならやらないほうがまし。儲かる儲からないではなく、未来の大阪にとって大切なことはなにか、本気で考えてほしい。そして、大阪に副首都をおいてほしいと、自薦ではなく、他から推薦されるような、住む人働く人にとって素晴らしい都市にしてほしい。</p>	<p>Beyond EXPO 2025は、大阪の持続的な成長・発展と府民のWell-Beingの向上を一体的にめざすものです。その実現に向け、「経済の成長」「都市力の向上」「人の集積」の3つが互いに高め合う好循環サイクルを定着・加速させ、それにより、府民所得の向上や雇用の創出といった経済的豊かさを強固なものとし、その基盤のもとに、府民一人ひとりの暮らしの豊かさの向上につなげ、府民一人ひとりのWell-Beingの向上をめざしてまいります。</p>
<p>成長を通じた豊かな大阪の実現</p>	<p>「Well Being の向上」で「フレンドリー」の欄に「性別、年齢、国籍、障がいの有無にかかわらず、一人ひとりが尊重され、安心して生活している」とありますが、人権問題は「フレンドリー」かどうかで決められるものではありません。人権はフレンドリーかどうか関係なく守られるものです。</p>	<p>Beyond EXPO 2025では、将来の大阪の姿の中で「フレンドリー」を掲げていますが、これは『思いやりや「フレンドリー」気質が府域全体にあふれ、誰もが自分らしく暮らせるまち』をめざすものです。</p>
<p>成長を通じた豊かな大阪の実現</p>	<p>本案は「府民の暮らしの向上」を掲げながら、2040年代の名目GDP80兆円を中心目標に置いていません。他方で、この案自身で、この10年でポテンシャルは高まった一方、「府民一人ひとりの豊かさの実感には十分つながっていない」と認めています。であれば、GDPや来訪者数より、実質賃金、可処分所得、住宅費負担、貧困率、福祉・医療アクセスを主要指標にすべきです。</p>	<p>Beyond EXPO 2025では、一人当たり雇用者報酬や完全失業率をはじめ、「経済力」「都市力」などの各柱に沿った客観指標とともに、主観指標を設定し、大阪のまちやくらしがどのように変わるか、またその変化が府民の生活実感にどのように影響しているのかを把握していきます。</p>
<p>その他</p>	<p>「大阪都」になるのであれば、今回の施策の中に、都構想や総合区構想について、より具体的に記載すべきではないでしょうか。3度目の都構想を目指すと言っているので、具体的なことを発信してください。無責任と言っても過言ではないと思いました。</p>	<p>Beyond EXPO 2025は、万博後の大阪の持続的な成長・発展と、府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき道を示す指針（成長戦略）として策定にするものです。</p> <p>本戦略では、万博のレガシーを継承し「中枢性・拠点性」や「東京とは異なる個性・新たな価値観」を向上させ、「副首都・大阪」の早期実現と日本経済をけん引する成長エンジンとしての役割を果たしていくことをめざしています。</p>

その他	元号と西暦を併記してほしい。	混在しておりましたので西暦に統一いたします。
その他	「ワクワク」は擬音語ではないので、平仮名表記の方がいいと思う。	「ワクワク」とカタカナで表記することで、ひらがな表記よりもエネルギッシュな印象や勢いを伝えられると考え、カタカナを使用しております。
その他	「Beyond EXPO 2025（案）」というタイトルについて、日本人なら日本語でタイトルを記載すべき。それとも、今後、大阪府の案はすべて英語表記のタイトルにするということなのか。日本人として、情けないし、何のために、学校で子どもたちに国語を教えているのか。	Beyond EXPO 2025は、万博後の大阪の持続的な成長・発展と、府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき道を示す指針（成長戦略）として策定にするものです。
その他	「Beyond」というほとんど使ってこなかった単語が用いられていて、よく意味がわかりません。用語集に「Beyond」の意味を書いてください。	
その他	案のタイトルは副題にすべきで、「副首都・大阪に向けて」か何か、わかりやすい文言で、タイトルを変えるべきでは。	
その他	「豊かな大阪」とあるが、大阪府下には旧遊郭といわれる売春地区が現存している。これらの地区を整備できないのに、副首都を名乗らないでほしい。実態を把握し、一掃を大阪府警に命じてほしい。	Beyond EXPO 2025は、万博後の持続的な成長・発展と、府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき道を示す指針（成長戦略）として策定を検討しているものです。 いただいた内容については、ご意見として承ります。
その他	「ポテンシャル」という言葉はあまり使わないほうがいいと思います。あらゆる人に伝わる言葉で日本語を書きましょう。	いただいた内容については、ご意見として承ります。
その他	ページ数が多すぎる。箇条書きで内容はばらばら。ひたすらボリューム感で圧倒し、意見を言わさない戦略と受け止めざるを得ない。これは、物語性を出せないパワーポイントで資料を作ったことが大きな理由だと思う。これまでの施策を謙虚に振り返り、ダメなところは謙虚に反省したうえで、長い歴史の流れの理解の下にこれからの持続的な方向を語るべきなのに、それが無い。	